

新病院建設
第二期工事進行中

2019年12月の完成に向け、新病院建設は順調に進められており、第二期工事に入っています。第二期工事は旧厨房棟の解体から始まり、現在は杭打設工事等、基礎工事が行われています。

第二期工事は2018年11月に完成予定となっています。



二期工事では、新西棟の約半分が完成することとなり、一階部分に救急部門、二階から四階が病棟としてそれぞれ一部運用が開始されます。

救急部門では現行同様5床の救急病棟の運用となり、将来的には10床まで拡大予定となっています。救急外来の機能も現行同様となります。救急から二階～四階の病棟へは直通のエレベーターも備え、病棟への移送もスムーズに行えます。

新西棟の各階は東棟と連結され、第一期工事で完成した新手術室ともつながり、手術を要する患者さんの移動もスムーズになります。

2017年4月より、医療療養病床が90床になりました

2000年の介護保険制度開始時より開設してまいりました42床の介護療養病床を、本年3月末にて閉鎖し、医療療養病床42床へ転換させていただきました。この間多くの皆様にご利用、ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

4月からは既存の48床の医療療養病床と合わせ、2病棟90床の医療療養病床を運営してまいります。今後とも、患者様の療養権を守り地域の皆様方から利用しや

すい病床として活用頂けるよう、努力していく所存です。

尚、当院は現地建替えて新病院建設工事を進めております。約2年後の2019年2月頃より、既存建物解体のために医療療養病床1病棟42床が稼働を休止する予定となっております。

休止期間中は、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、入院相談は、従来どおり順次受け付けております。お気軽にご相談ください。

私たちが
めざすもの

医療福祉宣言

城北病院 城北診療所 2015

- 1 患者の立場に立ち、インフォームドコンセントを大切にします。
- 2 専門的な力量向上に努め、安全安心の医療・福祉の提供をすすめます。
- 3 すべての人々の健康づくりを支援し、安心して住み続けられるまちづくりに努めます。
- 4 人権を守り無差別・平等の医療・福祉をめざします。

発行 城北病院 医療福祉連携相談室

〒920-8616 金沢市京町 20-3
TEL 076-251-6111 FAX 076-208-5231
http://johoku-hosp.com
E-mail renkeisitu@johoku.jp



医療福祉連携相談室だより

Jo-HOKU No. 45

2017.6.1 spring



城北病院地域連携室室長
齊藤典才

2017年(平成29年)とは

新緑の季節、多くの職場でフレッシュな新入職員の元気な声が響いていることと思います。当院でも、新卒の医師3名、看護師14名を含む39名の新しい職員が加わる一方、外科には外部研修中であった古田医師の帰任と中堅の田畑医師が参加されることになり体制が大幅に強化され、楽しみにしています。さて、「2017年(平成29年)とは」というタイトルにした理由は、来年3月に控えている診療報酬の医療介護同時改定は大きな改革になることが予想され、その正念場としての1年になると考えているためです。国はよく「持続可能な社会保障制度にするために」とか「2025年問題に向けて」とか言いますが、高齢化による社会保障費の増加を理由に、給付抑制、保険料負担増、窓口自己負担増など国民生活を脅かす様々な施策を打ち出してきました。石川県でも昨年地域医療構想で将来の必要病床数が公表され、平成26年度の病床数1万5285床に対し、平成37年(2025年)の必要病床数は1万1900床とされています。しかし、地域医療構想が動き出す前に、幾つかの医療機関では急性期病床を削減しています。病床は削減される一方で高齢者の数はまだまだ増加します。当院は「救急搬送を断らない」という方針から救急搬送数が増加してきましたが、最近、満床状態が続き救急搬送を断らなければならない事例が発生しています。そういう意味で地域住民の皆さんや医療機関の皆さんにはご迷惑をおかけしていると思います。この後のページで触れますが、4月から介護療養病床を医療型療養病床へ転換し人員を厚く配置することで、患者さんを出来るだけ早期に在宅等へ戻れるようにし、救急搬送を断らなくても済むよう努力してまいります。医療を取り巻く環境は次第に厳しさを増す中で、やはり、地域での医療機関間のヨコの連携が益々重要になってきているように思います。今後とも、ご協力のほどよろしく願いいたします。

特集

城北病院・診療所 研修報告



古田浩之医師

城北病院外科古田と申します。初期研修から数えて城北病院での勤務は10年となりました。

2016年4月から1年間、外科の武者修行として長野市民病院へ研修に行ってきました。上司の三上医師が約10年前に研修させていただいた病院で、癌手術、腹腔鏡下手術に力を入れている施設です。癌手術はもちろんですが、消化管穿孔や虫垂炎など緊急手術、

ヘルニア手術から、胃・大腸のロボット手術まで幅広く行っている施設で、様々なことを学んできました。

胃・大腸癌は郭清の精度や腹腔鏡適応拡大のための研修をしてきました。また腹腔内で吻合を行うことでより傷が小さく、より合併症の少ない安全な、患者さんに負担の少ない手術を導入していく予定です。

また、鼠径ヘルニアに対しては、北陸ではまだまだ普及していないTEP法と呼ばれる腹腔鏡下ヘルニア修復術を勉強してきました。腹膜を損傷しないため、腹腔内臓器損傷のリスクや、術後癒着性腸閉塞のリスクを減らすことができる、より侵襲の低い手術と考えており、今後当院でも導入したいと思っています。

虫垂炎手術はこれまでも臍だけの傷で行う手術をしてきましたが、細径鉗子を用いてより傷が目立たない手術を行っています。

4月から田畑医師もスタッフに加わっていただき、外科スタッフ倍増となりました。スタッフ一同少しでも皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

新ドクター

2017年度 新任医師の紹介

2017年4月より、初期研修医を含め5名の医師が、城北病院・診療所の医療活動に参加することになりました。特に外科は、新たに1名の医師が加わり、研修から帰院した医師とあわせ5名の医師体制となりました。手術室も新しくオープンしておりますので、皆さまからのご紹介、ご期待に応えられるよう努力して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。



田畑 信輔 医師

4月から外科として働いている田畑信輔と申します。消化器外科手術、内視鏡などより質の高い医療に貢献できるよう頑張っていきますので宜しくお願いします。



清水海斗 医師

城北病院研修医1年目の清水海斗です。職種を超えて様々なことを学びたいです。患者さんからもたくさんの事を教わりたいです。よろしくお願い致します。



森田 裕子 医師

4月から城北病院で研修を開始した森田裕子です。患者さんの思いに応えられるよう、しっかり二年間研修をしたいと思っています。よろしくお願い致します。



佐々木景也 医師

4月から初期研修させていただいている佐々木景也です。一步一步成長し、地域の方、患者さんに貢献していけたらと思います。よろしくお願い致します。



新職員 しょうかい

新職員 39 名を 迎えてスタート!

4月5日に城北病院・診療所の新入職員オリエンテーションを行いました。

今年は初期研修医、薬剤師、放射線技師、検査技師、理学療法士、作業療法士、看護師、事務など39名の新入職員を迎えました。

三上副院長の歓迎の挨拶を皮切りに、病院の概要、

職員ハンドブック、HPH、労働安全衛生の講義、お昼は200名以上の職員を前に自己紹介を行いました。その後、健康友の会と交流企画を行い、地域住民からの期待を受けて、社会人、医療人としての自覚を高めた一日になったようです。新入職員の成長を心から期待します。